

# 環境経営の推進

## 2019年度 目標・実績 / 2020年度 目標

目的・目標テーマ	2019年度		2020年度
	環境目標	実績	環境目標
持続可能な社会に貢献する製品・サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品における低GWP冷媒への置き換えを実施します 3機種以上実施完了</li> <li>低GWP搭載装置の販売台数拡大</li> </ul>	2機種完了 目標達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品における低GWP冷媒への置き換えを実施します 3機種以上実施完了</li> <li>低GWP搭載装置の販売台数拡大</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネ製品の販売により、CO<sub>2</sub>排出抑制に貢献します CO<sub>2</sub>排出抑制貢献量 8,000t-CO<sub>2</sub></li> </ul>	7,512t-CO <sub>2</sub>	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネ製品の販売により、CO<sub>2</sub>排出抑制に貢献します CO<sub>2</sub>排出抑制貢献量 7,150t-CO<sub>2</sub></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たなエナジーデバイスの開発に合わせた専用装置を開発し、お客さまに提供します 専用装置3機種の開発・市場投入</li> </ul>	2機種開発中	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たなエナジーデバイスの開発に合わせた専用装置を開発し、お客さまに提供します 専用装置2機種の開発・市場投入</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>新排ガス規制に向けエコカーや電動化技術を開発されるお客さまに製品を提供します ①自動車市場向け装置の売上拡大 ②自動車市場向け受託試験の売上拡大</li> </ul>	①目標達成率 98% ②目標達成率 75%	<ul style="list-style-type: none"> <li>新排ガス規制に向けエコカーや電動化技術を開発されるお客さまに製品を提供します ①自動車市場向け装置の売上拡大 ②自動車市場向け受託試験の売上拡大</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境配慮開発設計ガイドライン改訂と全社への教育・周知を行います</li> </ul>	ガイドライン案の素案承認	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境配慮開発設計ガイドライン改訂と全社への教育・周知を行います</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客さまの潜在ニーズを先取りしたサービスメニューのための技術開発を行います</li> </ul>	技術開発テーマ1件実施完了	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客さまの潜在ニーズを先取りしたサービスメニューのための技術開発を行います 技術開発テーマ 1件実施完了</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品による環境負荷低減に向けた技術開発を行います</li> </ul>	技術開発計画の策定完了	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品による環境負荷低減に向けた技術開発を行います 製品への展開 1件</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノンフロン発泡断熱材への切り替えにより、製品の環境負荷低減とリサイクル容易性の向上に貢献します</li> </ul>	ノンフロン発泡断熱材への切替準備完了	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準製品においてノンフロンウレタン発泡の採用を開始します</li> <li>断熱材の分別容易性工法の開発により、製品の環境負荷低減とリサイクル容易性の向上に貢献します</li> </ul>
気候変動対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>製造および受託試験でのCO<sub>2</sub>排出量(原単位)を削減します 2012年度比 原単位21.9%改善</li> </ul>	2012年度比 原単位10%改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内事業所におけるCO<sub>2</sub>総排出量を5%削減します (2018年度比)*</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>受託試験所での省エネ機器導入とグリーン電力導入によりCO<sub>2</sub>排出量を低減 2012年度比 原単位5%削減</li> </ul>	刈谷試験所のグリーン電力化と省エネ機器導入により 原単位25%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所のさらなるグリーン電力化を検討・実施します</li> </ul>
資源循環	<ul style="list-style-type: none"> <li>福知山工場の排出物総量を2017年度比で2%削減します</li> </ul>	12%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>福知山工場の排出物総量を2017年度比で3%削減します</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>部品のリユース再生技術を開発し、環境負荷低減に努めます 計装基板再生率80%以上、計装基板の再生体制の確立と実務運用の開始</li> </ul>	実施完了	<ul style="list-style-type: none"> <li>部品のリユース再生技術を開発し、環境負荷低減に努めます 計装表示器のリユース技術の開発</li> </ul>
化学物質管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>1-ブロモプロパン(アブゾール)の使用を2016年度比で80%削減します</li> </ul>	83%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>(基準値以下になったため維持管理対象とする)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル市場向け製品をRoHS規制対応品とします 4機種実施完了</li> </ul>	2機種実施完了	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル市場向け製品におけるRoHS規制対象10物質について対応活動を行います(22機種)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>カスタム仕様製品をRoHS規制対応品とします 2機種実施完了</li> </ul>	2機種実施活動中	<ul style="list-style-type: none"> <li>カスタム仕様製品をRoHS規制対応品とします 4機種実施完了</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内情報システムを活用した部品情報共有に向けての現状把握と実施計画の策定を行います</li> </ul>	計画策定完了	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内情報システムに製品の化学物質管理機能を追加します</li> </ul>
生物多様性保全 環境人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業向け事業所敷地・保有森林の簡易多様性評価・保全事業を拡大します PR件数 100社</li> </ul>	150社 7件受注	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業向け事業所敷地・保有森林の簡易多様性評価・保全事業を拡大します PR件数 150社</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都モデルフォレスト活動を通じて、毛原の森を持続可能な森へと整備します 毛原の森活動参加人数 180名以上</li> </ul>	223名	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都モデルフォレスト活動を通じて、毛原の森を持続可能な森へと整備します 毛原の森活動参加人数 200名以上</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>KRC/バンビの里およびエスベックミック在来種育成ラボをエスベックの生物多様性保全の教育・普及の場として、生物多様性に取り組むお客さまや市民に広くご活用いただけるように整備します ①バンビの里への誘引人数 150名 ②エスベックミック在来種育成ラボへの誘引人数 80名</li> </ul>	①60名 ②116名	<ul style="list-style-type: none"> <li>KRC/バンビの里およびエスベックミック在来種育成ラボをエスベックの生物多様性保全の教育・普及の場として、生物多様性に取り組むお客さまや市民に広くご活用いただけるように整備します ①バンビの里への誘引人数 250名 ②エスベックミック在来種育成ラボへの誘引人数 120名</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「エスベックみどりの学校」のさらなるレベルアップを図ります ①エコ検定管理職合格率100%の維持 ②環境法規制に対する部門長の理解度を深めるための仕組みの策定 ③企業向け生物多様性・森づくりセミナーを開催し企業の環境管理担当者の参加を誘引 年2回開催</li> </ul>	①100% ②実施完了 ③2回開催34名 (23社、1大学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「エスベックみどりの学校」のさらなるレベルアップを図ります ①エコ検定管理職合格率100%の維持 エコ検定リーダー職以上への取得推奨 (※2019年度末:リーダー職以上合格率 87%) ②環境法規制に対する部門長の理解度を深めるための教育計画と実施 ③企業向け生物多様性セミナーの開催と企業の環境担当者の参加誘引 年4回以上開催</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>公益信託「エスベック地球環境研究・技術基金」による助成を充実します 年間助成件数 15件以上</li> </ul>	21件	<ul style="list-style-type: none"> <li>公益信託「エスベック地球環境研究・技術基金」による助成を充実します 年間助成件数 15件以上</li> </ul>

\* CO<sub>2</sub>排出量の削減については、2020年度より売上高原単位から総排出量に目標の変更を行いました